

土砂災害

三原田小学校 五年

堤^{つみ} 永光^{ながひかり}

ぼくは、土砂災害について調べたことを書きます。

まず、土砂は三つの名前があります。

一つは土石流です。土石流は土砂、石、流木などが水と一緒になつて、一気に流れてくるのが土石流です。さらに時速二十kmから四十kmで畑などをかためつさせます。

二つ目は地すべりです。土石流とはかなりち

がってし^カ面の一部またはし^カ面全体が塊

のまま下に動きだすのが一番のちがいです。

それから、広いはん^圃にわたつて家や田畑な

どに、ばくだいな^ハ害をだします。

三つ目はかけくずれです。かけくずれは雨水

や地震などえいきよ^ウでゆるみ、突然、くず

れ落ちる現象です。短時間でくずれ落ちるた

め、人家の近くで発生すると逃げる時間がと

れず、命にきけんがおよぶ可能性が高いです。

それで土石流、地すべり、がげくずれでいろいろな土石災害の前兆現象があります。かけ崩れは主にかけにひび割れがでる、小石がバラバラと落ちてくる、かけから水がわき出る、わき水が止まる、にぞる、地鳴りがしたりします。

地すべりは、地面がひび割れ、かんぼつ、かけやし^や面から水がふき出す、井戸やさわの水がにぞる、地鳴り山鳴りじ^じもくかかたむく、きれつや段差が発生などがあります。

土石流は、山鳴りがする、急に川の水がにぞり、流水が混ざり始める、くさつた土のにおいがする、ごおうが続くのに川の水位が下がる、たつきかさける音や石がぶつかり合う音が聞こえるなどとゆうことがあります。

それで、土石災害から身を守るためのポイントがあります。

一つは土石警戒区域です。なぜかというところ

土石災害警戒区域や土石災害危険箇所は土石災害のおそれがある所でそこで身を守るに

は土砂災害ハザードマップを利用してひな人場所やひなん経路などを知っていると、身を守ることができます。

2つ目は土砂災害警戒情報です。なぜかというところ雨がふったりすると土砂災害になることがあるので土砂災害警戒情報をけい帯電話などで見るとあぶないかどうか分かります。

3つ目はすばやく動くことです。何かと言うと住んでいる所が警戒レベル4になったら1階は被災してしまつてにげ場が無くなつて

しまいます。さら警戒レベル5になると命があぶなくなります。なので警戒レベル3で速めにお年よりや障害のある人はそのじてんでひな人をすばやく行動をとるとおおぜいの人かにげられます。

最後にぼくは、土砂災害には土砂災害警戒区域とか土砂災害危険箇所などがそうゆうのがあるんだと初めて知りました。ほかにも土砂の前兆現象や土砂災害ハザードマップや土砂災害警戒などがあることに気が付きました。